

# 平成 31 年度(令和元年度)全国学力・学習状況調査 調査結果のポイントについて

---

～伊達市における調査結果～

本資料は、道が公表した「平成 31 年度(令和元年度)全国学力・学習状況調査調査結果のポイント」に基づき、伊達市と全国、北海道の公立学校の調査結果の比較ができるようにまとめたものです。

# 1 調査の概要

## 1 調査の目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## 2 調査の対象

- 小学校、義務教育学校前期課程、特別支援学校小学部の第6学年の児童
- 中学校、義務教育学校後期課程、中等教育学校、特別支援学校中学部の第3学年の生徒

## 3 調査の内容

- ① 教科に関する調査（国語、算数・数学、英語）
  - ・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
  - ・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

※上記を一体的に問う。

### ② 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

- ・児童生徒に対する調査
- ・学校に対する調査

## 4 調査の方式

悉皆調査

## 5 調査の実施日

平成31年（2019年）4月18日（木）に調査を実施した学校・児童生徒数

伊達市

	実施学校数（校）	児童生徒数（人）
小学校 (義務教育学校前期課程含)	9	262
中学校 (義務教育学校後期課程含)	3	289
合計	12	551

## 2 結果の概要

### ■ 教科に関する調査

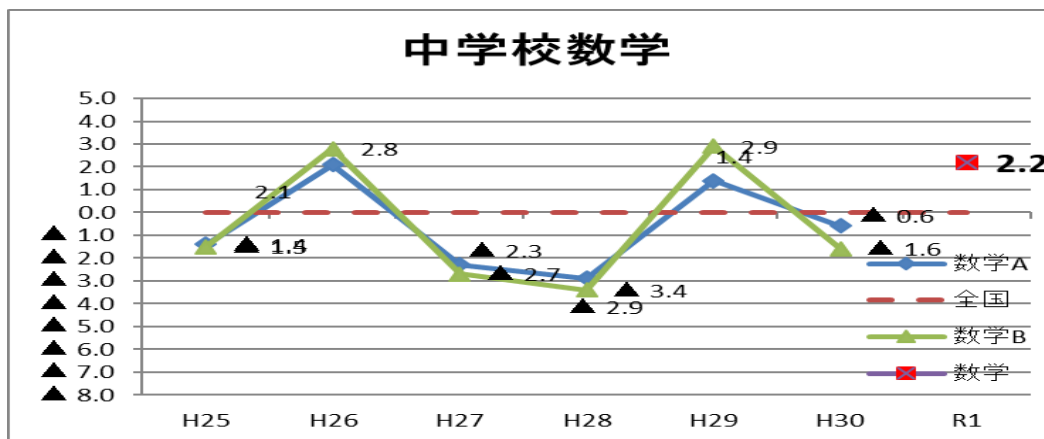
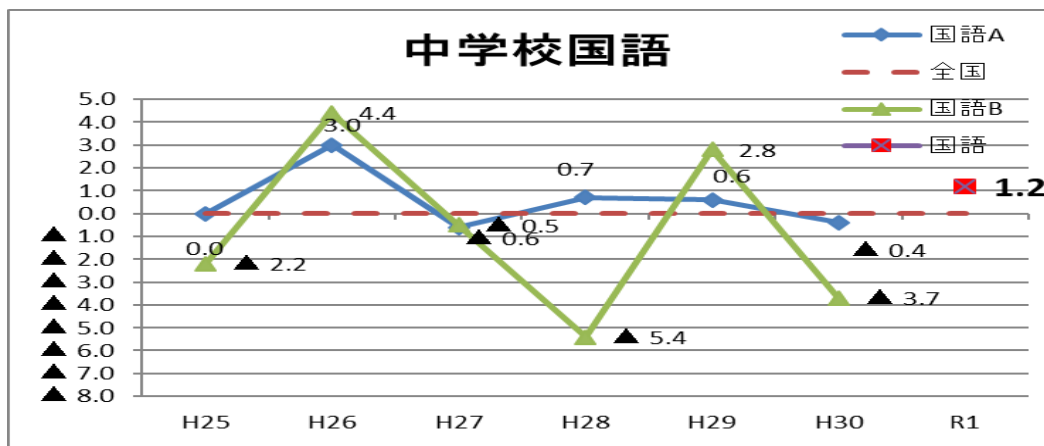
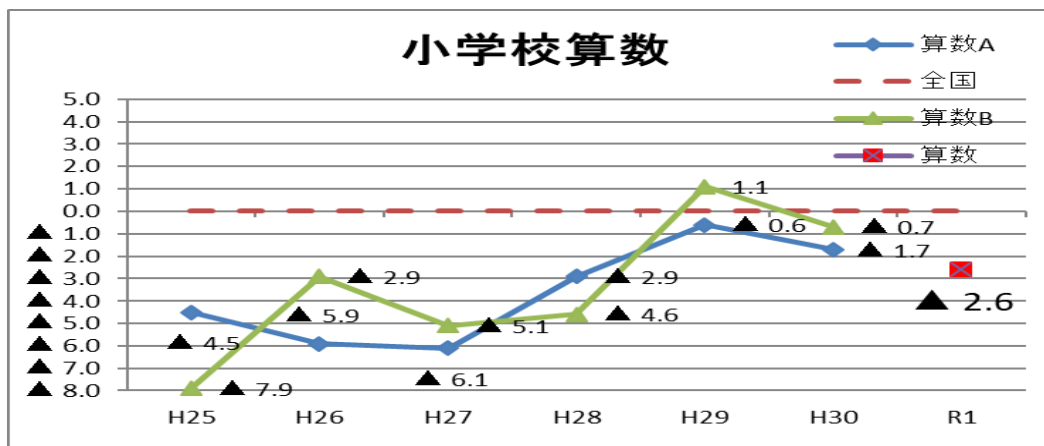
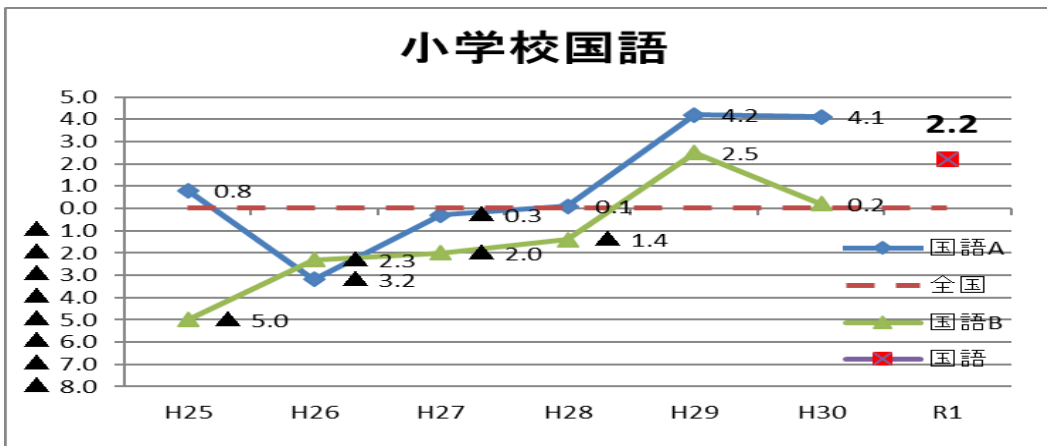
- 小学校では、すべての教科において北海道の平均正答率を上回っており（算数は同値）、国との比較でも国語科は上回っている。
- 一方、中学校においても全ての教科において北海道の平均正答率を上回っており、国との比較においても国語、数学で、国の正答率を上回っている。

各教科の平均正答率 (英語は今年度より実施)

		小学校				中学校				
		国語		算数		国語		数学		英語
		H31 (R1)		H31 (R1)		H31 (R1)		H31 (R1)		H31 (R1)
		H30A	H30B	H30A	H30B	H30A	H30B	H30A	H30B	
平均 正答率 (%)	伊達市	66.0		64.0		74.0		62.0		55.0
		75.0	55.0	62.0	51.0	76.0	58.0	66.0	46.0	—
	北海道	63 [62.8]		64 [64.5]		72 [72.1]		58 [58.1]		54 [54.2]
		70.0	53.0	62.0	49.0	77.0	61.0	65.0	46.0	—
	国	64 [63.8]		67 [66.6]		73 [72.8]		60 [59.8]		56 [56.0]
		70.7	54.7	63.5	51.5	76.1	61.2	66.1	46.9	—
平均 正答数 (問)	伊達市	9.2/14		9.0/14		7.4/10		9.9/16		11.6/21
		9.0/12	4.4/8	8.6/14	5.1/10	24.4/32	5.2/9	23.8/36	6.4/14	—
	北海道	8.8/14		9.0/14		7.2/10		9.3/16		11.4/21
		8.4/12	4.2/8	8.7/14	4.9/10	24.5/32	5.5/9	23.4/36	6.4/14	—
	国	8.9/14		9.3/14		7.3/10		9.6/16		11.8/21
		8.5/12	4.4/8	8.9/14	5.1/10	24.3/32	5.5/9	23.8/36	6.6/14	—

国は小数点以下第一位まで表しているが、道及び伊達市においては、小数点以下は切り捨てとなっている。そのため、正答数が同じ場合や正答数が国の方が低くても正答率で国の方が高くなる場合がある。

全国（全国を0としたときの）との平均正答率の差



## ■ 児童生徒質問紙調査

- ① 授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思う児童生徒の割合は、小学校で 23.3%、中学校で 29.1%であり、昨年度と比べて、小学校で 2.6 ポイント、中学校で 10.5 ポイント高い。全国と比べて、小学校で 9.7 ポイント、中学校で 0.2 ポイント低い。(小 35、中 37)
- ② 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりしている児童生徒の割合は、小学校で 23.7%、中学校で 31.1%であり、昨年度と比べて、小学校で 9.4 ポイント、中学校で 0.3 ポイント低い。全国と比べて、小学校で 6.6 ポイント低く、中学校で 2.8 ポイント高い。(小 29、中 32)
- ③ 学校のきまりを守っている児童生徒の割合は、小学校で 37.8%、中学校で 59.9%であり、昨年度と比べて、小学校で 4.5 ポイント、中学校で 9.5 ポイント高い。全国と比べて、小学校で 8.9 ポイント、中学校で 6.9 ポイント低い。(小 13、中 13)
- ④ 聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動が行われていたと思う生徒の割合は、中学校で 47.4%であり、全国と比べて、8.3 ポイント高い。(中 65)
- ⑤ 国語の問題について、全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した児童生徒の割合は、小学校で 81.7%、中学校で 82.4% であり、全国と比べて、小学校で 1.3 ポイント、中学校で 2.6 ポイント高い。(小 45、中 48)
- ⑥ 算数・数学の問題について、全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した児童生徒の割合は、小学校で 82.8%、中学校で 57.8%であり、昨年度と比べて、小学校で 9.8 ポイント、中学校で 11.5 ポイント高い。全国と比べて、小学校で 2.1 ポイント高く、中学校で 3.0 ポイント低い。(小 56、中 53)
- ⑦ 家で自分で計画を立てて勉強している児童生徒の割合は、小学校で 21.0%、中学校で 16.3%であり、昨年度と比べて、小学校で 10.9 ポイント低く、中学校で 4.5 ポイント高い。全国と比べて、小学校で 12.1 ポイント、中学校で 1.4 ポイント低い。(小 17、中 17)
- ⑧ 普段、1日当たり1時間以上勉強する児童生徒の割合は、小学校で 49.2%、中学校で 60.5%であり、昨年度と比べて、小学校で 1.2 ポイント低く、中学校で 9.2 ポイント高い。全国と比べて、小学校で 18.9 ポイント、中学校で 9.3 ポイント低い。(小 18、中 18)

## ■ 学校質問紙調査

- ⑨ 児童生徒は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思う学校の割合は、小学校で 22.2%、中学校で 33.3%であり、昨年度と比べて、小学校で 11.1 ポイント低く、中学校で同ポイント。全国と比べて、小学校で 5.3 ポイント高く、中学校で 18.8 ポイント高い。(小 32、中 33)
- ⑩ 習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をよく行った学校の割合は、小学校で 44.4%、中学校で 33.3%であり、昨年度と比べて、小学校で 22.3 ポイント低く、中学校で同ポイント。全国と比べて、小学校で 22.2 ポイント、中学校で 12.5 ポイント高い。(小 37、中 37)
- ⑪ 学習規律の維持の徹底をよく行った学校の割合は、小学校で 44.4%、中学校で 100%であり、昨年度と比べて、小学校で 11.2 ポイント低く、中学校で同ポイント。全国と比べて、小学校で 13.4 ポイント、中学校で 36.2 ポイント高い。(小 13、中 13)
- ⑫ 聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする言語活動をよく行った学校の割合は、中学校で 33.3%であり、全国と比べて、15.7 ポイント高い。(中 57)
- ⑬ 児童生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルの確立をよくしている学校の割合は、小学校で 66.7%、中学校で 66.7%であり、昨年度と比べて、小学校で 33.4 ポイント、中学校で 66.7 ポイント高い。全国と比べて、小学校で 29.4 ポイント高く、中学校で 32.8 ポイント高い。(小 17、中 17)
- ⑭ 平成 30 年度全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するための活用をよく行った学校の割合は、小学校で 77.8%、中学校で 33.3%であり、昨年度と比べて、小学校で 11.1 ポイント、中学校で 33.3 ポイント高い。全国と比べて、小学校で 35.3 ポイント高く、中学校で 1.2 ポイント低い。(小 63、中 79)
- ⑮ 校長のリーダーシップのもと、研修リーダー等を校内に設け、校内研修の実施計画を整備するなど、組織的、継続的な研修をよくしている学校の割合は、小学校で 88.9%、中学校で 66.7%であり、昨年度と比べて、小学校で同ポイント、中学校で 33.3 ポイント低い。全国と比べて、小学校で 18.8 ポイント、中学校で 3.5 ポイント高い。(小 22、中 23)
- ⑯ 学級運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的な取組をよくしている学校の割合は、小学校で 77.8%、中学校で 33.3%であり、昨年度と比べて、小学校で 11.1 ポイント高く、中学校で同ポイント。全国と比べて、小学校で 18.6 ポイント高く、中学校で 18.1 ポイント低い。(小 30、中 31)

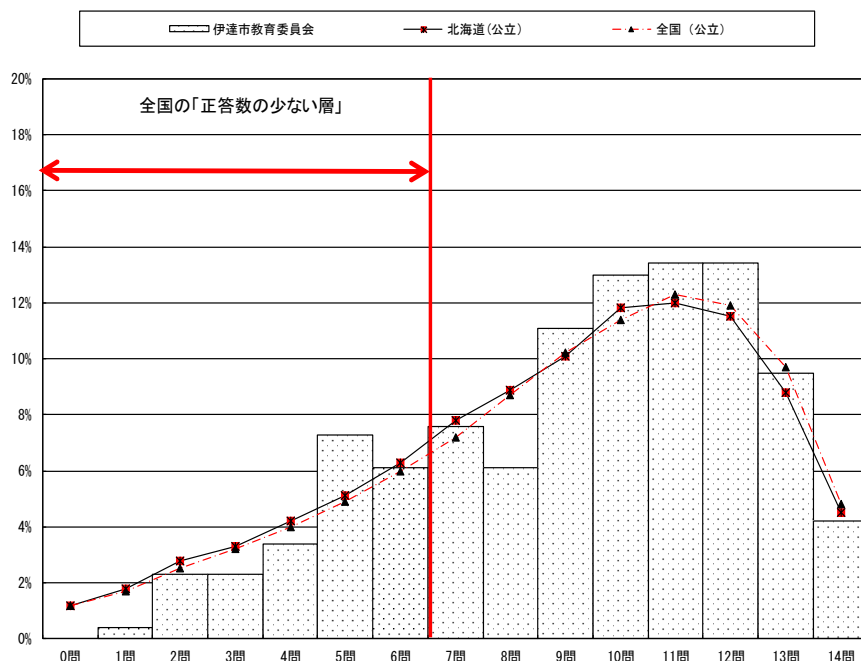
### 3 教科に関する調査

#### 伊達市教育委員会の正答数の状況(正答数の少ない層)

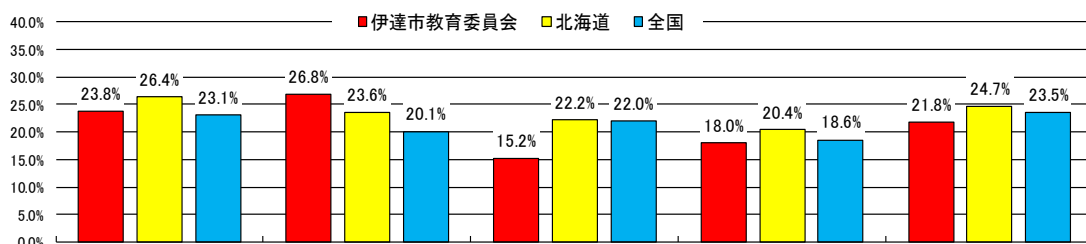
##### 小学校国語

	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
伊達市教育委員会	262	9.2 / 14	66.0	10.0	3.1
北海道(公立)	38,831	8.8 / 14	62.8	9.0	3.4
全国(公立)	1,028,203	8.9 / 14	63.8	10.0	3.4

正答数 (児童の割合(%))			
正答数(正答率)	伊達市教育委員会	北海道	全国
14問(100.0%)	4.2	4.5	4.8
13問(92.9%)	9.5	8.8	9.7
12問(85.7%)	13.4	11.5	11.9
11問(78.6%)	13.4	12.0	12.3
10問(71.4%)	13.0	11.8	11.4
9問(64.3%)	11.1	10.1	10.2
8問(57.1%)	6.1	8.9	8.7
7問(50.0%)	7.6	7.8	7.2
6問(42.9%)	6.1	6.3	6.0
5問(35.7%)	7.3	5.1	4.9
4問(28.6%)	3.4	4.2	4.0
3問(21.4%)	2.3	3.3	3.2
2問(14.3%)	2.3	2.8	2.5
1問(7.1%)	0.4	1.8	1.7
0問(0.0%)	0.0	1.2	1.2



#### 全国的「正答数の少ない層」と同じ範囲に含まれる児童の割合



	H25						H30						H31(R1)		
	A			B			A			B			伊達市教育委員会	全道	全国
	伊達市教育委員会	全道	全国	伊達市教育委員会	全道	全国	伊達市教育委員会	全道	全国	伊達市教育委員会	全道	全国			
割合	23.8%	26.4%	23.1%	26.8%	23.6%	20.1%	15.2%	22.2%	22.0%	18.0%	20.4%	18.6%	21.8%	24.7%	23.5%
正答数	18問中8問以下			10問中2問以下			12問中6問以下			8問中2問以下			14問中6問以下		
全国との差	0.7 多い			6.7 多い			6.8 少ない			0.6 少ない			1.7 少ない		

# 伊達市教育委員会の正答数の状況(正答数の少ない層)

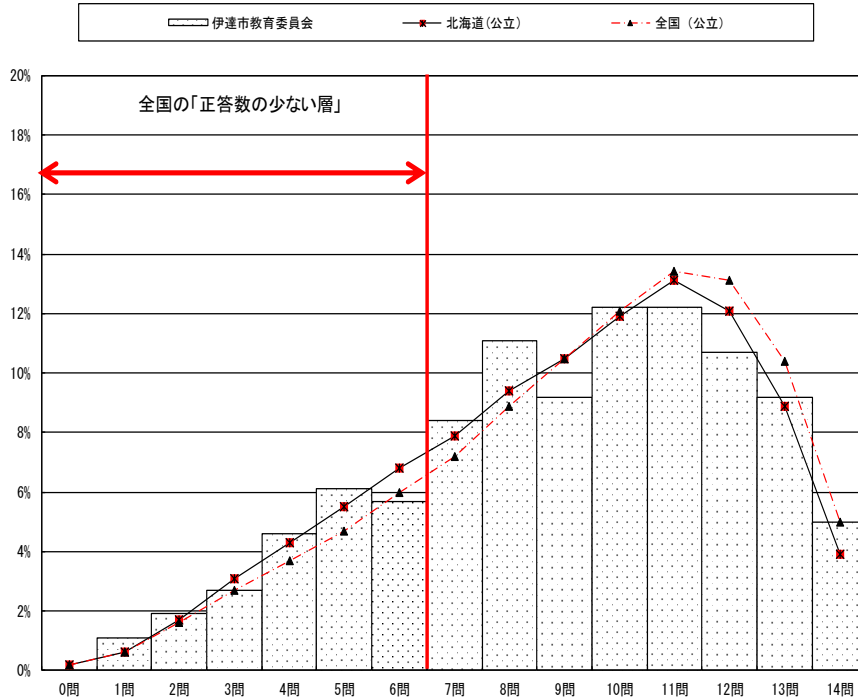
## 小学校算数

	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
伊達市教育委員会	262	9.0 / 14	64.0	9.0	3.2
北海道(公立)	38,837	9.0 / 14	64.5	9.0	3.1
全国(公立)	1,028,177	9.3 / 14	66.6	10.0	3.1

## 正答数 (児童の割合(%))

正答数(正答率)	伊達市教育委員会	北海道	全国
14問(100.0%)	5.0	3.9	5.0
13問(92.9%)	9.2	8.9	10.4
12問(85.7%)	10.7	12.1	13.1
11問(78.6%)	12.2	13.1	13.4
10問(71.4%)	12.2	11.9	12.1
9問(64.3%)	9.2	10.5	10.5
8問(57.1%)	11.1	9.4	8.9
7問(50.0%)	8.4	7.9	7.2
6問(42.9%)	5.7	6.8	6.0
5問(35.7%)	6.1	5.5	4.7
4問(28.6%)	4.6	4.3	3.7
3問(21.4%)	2.7	3.1	2.7
2問(14.3%)	1.9	1.7	1.6
1問(7.1%)	1.1	0.6	0.6
0問(0.0%)	0.0	0.2	0.2

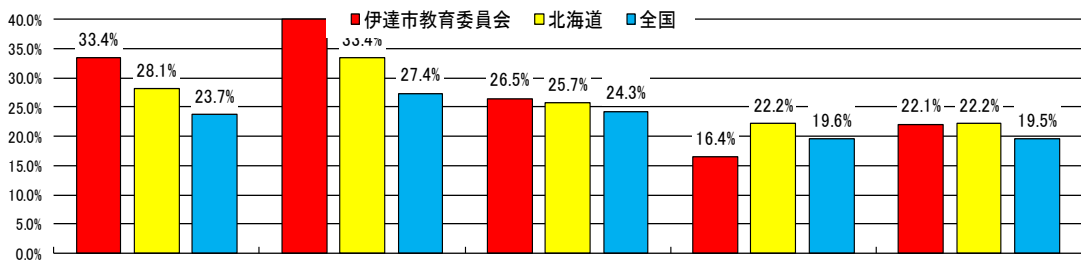
(割合は小数第2位以下を四捨五入)



## ●全国の「正答数の少ない層」

6問以下の割合	22.1	22.2	19.5
---------	------	------	------

## 全国の「正答数の少ない層」と同じ範囲に含まれる児童の割合



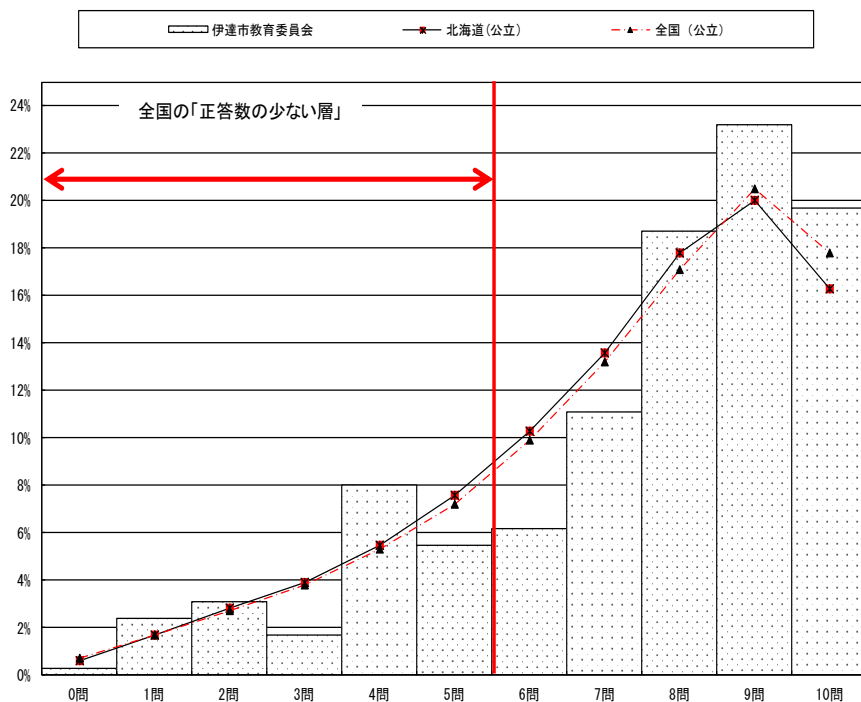
	H25						H30						H31(R1)		
	A			B			A			B			H31(R1)		
	伊達市教育委員会	全道	全国	伊達市教育委員会	全道	全国	伊達市教育委員会	全道	全国	伊達市教育委員会	全道	全国	伊達市教育委員会	全道	全国
割合	33.4%	28.1%	23.7%	40.1%	33.4%	27.4%	26.5%	25.7%	24.3%	16.4%	22.2%	19.6%	22.1%	22.2%	19.5%
正答数	19問中12問以下			13問中5問以下			14問中6問以下			10問中2問以下			14問中6問以下		
全国との差	9.7		多い	12.7		多い	2.2		多い	3.2		少ない	2.6		多い

# 伊達市教育委員会の正答数の状況(正答数の少ない層)

## 中学校国語

	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
伊達市教育委員会	289	7.4 / 10	74.0	8.0	2.4
北海道(公立)	37,859	7.2 / 10	72.1	8.0	2.4
全国(公立)	938,797	7.3 / 10	72.8	8.0	2.4

正答数 (児童の割合(%))			
正答数(正答率)	伊達市教育委員会	北海道	全国
10問 (100.0%)	19.7	16.3	17.8
9問 (90.0%)	23.2	20.0	20.5
8問 (80.0%)	18.7	17.8	17.1
7問 (70.0%)	11.1	13.6	13.2
6問 (60.0%)	6.2	10.3	9.9
5問 (50.0%)	5.5	7.6	7.2
4問 (40.0%)	8.0	5.5	5.3
3問 (30.0%)	1.7	3.9	3.8
2問 (20.0%)	3.1	2.8	2.7
1問 (10.0%)	2.4	1.7	1.7
0問 (0.0%)	0.3	0.6	0.7

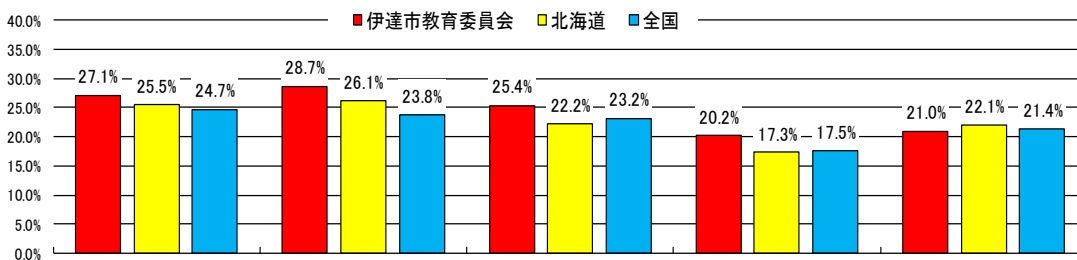


(割合は小数第2位以下を四捨五入)

### ●全国の「正答数の少ない層」

5問以下の割合	21.0	22.1	21.4
---------	------	------	------

## 全国の「正答数の少ない層」と同じ範囲に含まれる生徒の割合



	H25						H30						H31(R1)		
	A			B			A			B			H31(R1)		
	伊達市教育委員会	全道	全国	伊達市教育委員会	全道	全国	伊達市教育委員会	全道	全国	伊達市教育委員会	全道	全国	伊達市教育委員会	全道	全国
割合	27.1%	25.5%	24.7%	28.7%	26.1%	23.8%	25.4%	22.2%	23.2%	20.2%	17.3%	17.5%	21.0%	22.1%	21.4%
正答数	32問中21問以下			9問中4問以下			32問中21問以下			9問中3問以下			10問中5問以下		
全国との差	2.4 多い			4.9 多い			2.2 多い			2.7 多い			0.4 少ない		



# 伊達市教育委員会の正答数の状況(正答数の少ない層)

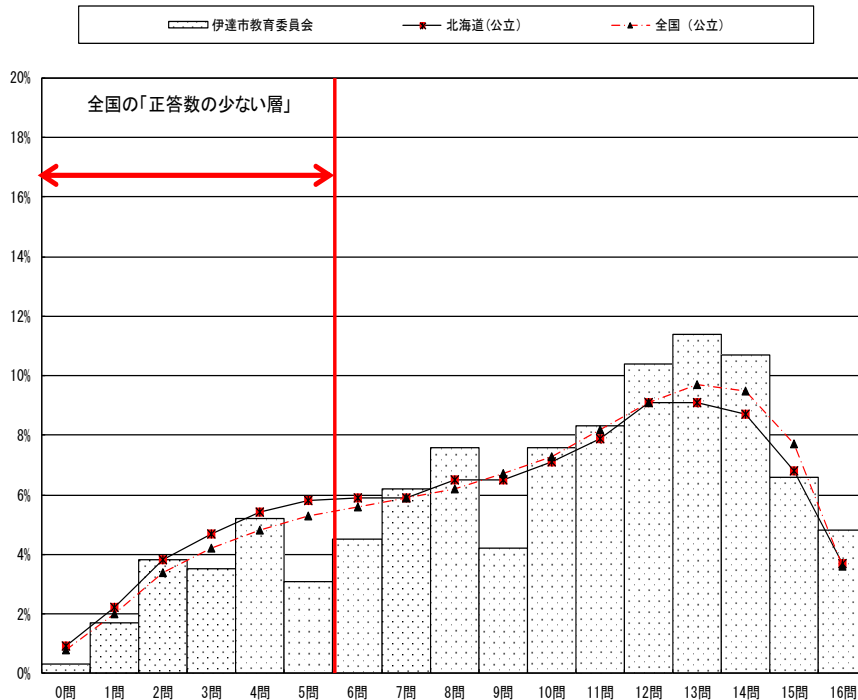
## 中学校数学

	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
伊達市教育委員会	289	9.9 / 16	62.0	11.0	4.1
北海道(公立)	37,844	9.3 / 16	58.1	10.0	4.2
全国(公立)	938,887	9.6 / 16	59.8	10.0	4.2

## 正答数 (児童の割合(%))

正答数 (正答率)	伊達市教育委員会	北海道	全国
16問 (100.0%)	4.8	3.7	3.6
15問 (93.8%)	6.6	6.8	7.7
14問 (87.5%)	10.7	8.7	9.5
13問 (81.3%)	11.4	9.1	9.7
12問 (75.0%)	10.4	9.1	9.1
11問 (68.8%)	8.3	7.9	8.2
10問 (62.5%)	7.6	7.1	7.3
9問 (56.3%)	4.2	6.5	6.7
8問 (50.0%)	7.6	6.5	6.2
7問 (43.8%)	6.2	5.9	5.9
6問 (37.5%)	4.5	5.9	5.6
5問 (31.3%)	3.1	5.8	5.3
4問 (25.0%)	5.2	5.4	4.8
3問 (18.8%)	3.5	4.7	4.2
2問 (12.5%)	3.8	3.8	3.4
1問 (6.3%)	1.7	2.2	2.0
0問 (0.0%)	0.3	0.9	0.8

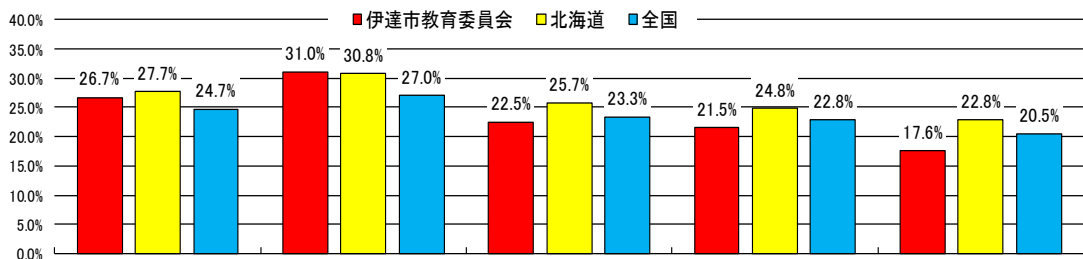
(割合は小数第2位以下を四捨五入)



## ●全国「正答数の少ない層」

5問以下の割合	17.6	22.8	20.5
---------	------	------	------

## 全国「正答数の少ない層」と同じ範囲に含まれる生徒の割合



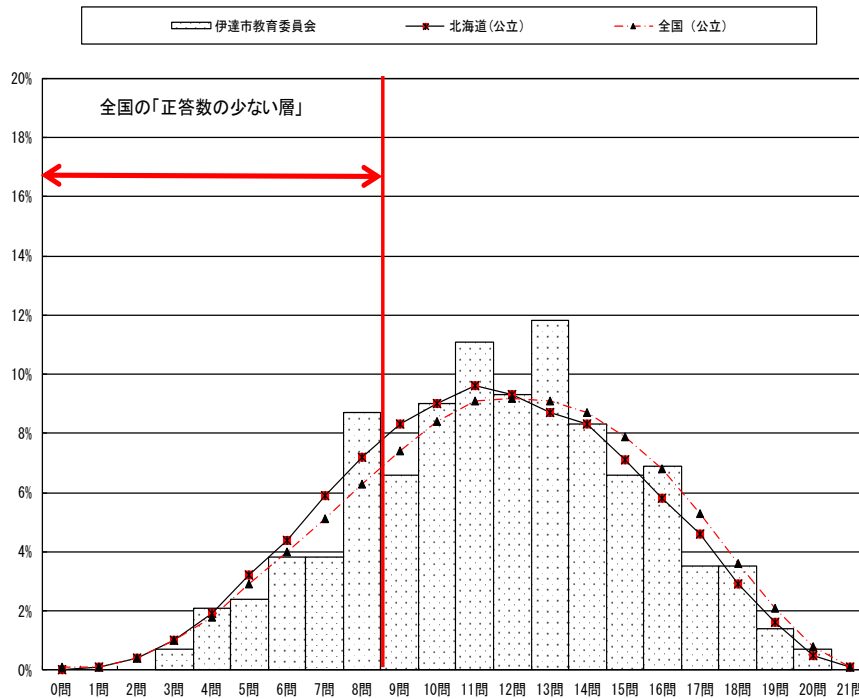
	H25						H30						H31(R1)		
	A			B			A			B			H31(R1)		
	伊達市教育委員会	全道	全国	伊達市教育委員会	全道	全国	伊達市教育委員会	全道	全国	伊達市教育委員会	全道	全国	伊達市教育委員会	全道	全国
割合	26.7%	27.7%	24.7%	31.0%	30.8%	27.0%	22.5%	25.7%	23.3%	21.5%	24.8%	22.8%	17.6%	22.8%	20.5%
正答数	36問中17問以下			16問中3問以下			36問中17問以下			14問中3問以下			16問中5問以下		
全国との差	2.0	多い		4.0	多い		0.8	少ない		1.3	少ない		2.9	少ない	

# 伊達市教育委員会の正答数の状況(正答数の少ない層)

## 中学校英語

	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
伊達市教育委員会	289	11.6 / 21	55.0	12.0	3.6
北海道(公立)	37,844	11.4 / 21	54.2	11.0	3.8
全国(公立)	938,888	11.8 / 21	56.0	12.0	3.9

正答数 (児童の割合(%))				
正答数 (正答率)	伊達市教育委員会	北海道	全国	
21問 (100.0%)	0.0	0.1	0.1	
20問 (95.2%)	0.7	0.5	0.8	
19問 (90.5%)	1.4	1.6	2.1	
18問 (85.7%)	3.5	2.9	3.6	
17問 (81.0%)	3.5	4.6	5.3	
16問 (76.2%)	6.9	5.8	6.8	
15問 (71.4%)	6.6	7.1	7.9	
14問 (66.7%)	8.3	8.3	8.7	
13問 (61.9%)	11.8	8.7	9.1	
12問 (57.1%)	9.3	9.3	9.2	
11問 (52.4%)	11.1	9.6	9.1	
10問 (47.6%)	9.0	9.0	8.4	
9問 (42.9%)	6.6	8.3	7.4	
8問 (38.1%)	8.7	7.2	6.3	
7問 (33.3%)	3.8	5.9	5.1	
6問 (28.6%)	3.8	4.4	4.0	
5問 (23.8%)	2.4	3.2	2.9	
4問 (19.0%)	2.1	1.9	1.8	
3問 (14.3%)	0.7	1.0	1.0	
2問 (9.5%)	0.0	0.4	0.4	
1問 (4.8%)	0.0	0.1	0.1	
0問 (0.0%)	0.0	0.0	0.1	



●全国の「正答数の少ない層」			
8問以下の割合	21.5	24.1	21.7

## 全国の「正答数の少ない層」と同じ範囲に含まれる生徒の割合



	H31(R1)		
	伊達市教育委員会	全道	全国
割合	21.5%	24.1%	21.7%
正答数	21問中8問以下		
全国との差	0.2	少ない	